

Ⅲ. 資 料 編

Ⅲ. 資 料 編

1. 全国における組合でのISO認証取得事例

- ① 組合におけるISO認証取得組合一覧表
- ② 神奈川県段ボール箱協同組合（神奈川県）
- ③ 新利根工業団地協同組合（茨城県）
- ④ 協同組合福山金属工業センター（広島県）
- ⑤ 協同組合徳島印刷センター
- ⑥ 協業組合アクアテック栗原（宮城県）

2. 組合・組合員におけるISO認証取得に関する実態調査票

組合によるISO認証取得組合一覧表

(2005. 2. 1 現在)

(注)他県中央会回答の記載どおり掲載しておりますので規格の表現がまともでない点はありません。

NO	都道府県	組 合 名	適 用 規 格	登 録 範 囲	関 係 情 報 (情 報 ソ ー ス)
1	北海道	(協業) エクセル三和	ISO14001:1996	一般廃棄物、産業廃棄物、し尿の収集運搬及び浄化槽維持管理	
		北海道基礎工業 (協)	ISO9001:2000	組合員の取り扱う土木、建築の杭打工事の共同受注及び共同施行	
2	青 森	(協業) 公清企業	ISO9001:2000	土木工事の施工及び環境測定分析業務	
			ISO14001:1996	産業廃棄物の収集運搬及び中間処理、塵芥収集運搬、道路清掃	
3	岩 手	不明	ISO/IEC17025	品質保証	
4	宮 城	(協業) アクアテック栗原	ISO14001:1996	浄化槽管理	
5	秋 田	秋田県建築設計事業 (協)	ISO9001:2000	建築物の設計及び工事監理	
		松沢工業 (協)	ISO9001:2000	レディミクスコンクリートの設計・開発及び製造	
6	山 形	(協) 山形給食センター	ISO9001	事業所に対する給食弁当及び会議用弁当、各種仕出し料理 (慶弔等の折詰料理)、各種パーティー用オーダーブル、学校・幼稚園給食等、前記に付随する一切の事業 (但し、メデイカル事業部門及び委託食堂は除く)	http://www.delic.jp/gaiyo/gaiyo_2.html
7	福 島	(協業) 福島県南環境衛生センター	ISO14001	登録組織全域における浄化槽の清掃、管理及び廃棄物の収集運搬業務	http://www.chuokai-fukushima.or.jp/kankyousei-center/
8	茨 城	新利根工業団地 (協)	ISO14001	産業廃棄物処理	
9	栃 木	なし	—	—	
10	群 馬	ぐんま建設環境事業 (協)	ISO14001	建設工事、造園工事、産業廃棄物処理	
		群馬県トラック事業 (協)	ISO9001	配車業務	
		群馬県電気工事 (工)	ISO9001	一般用電気工作物の調査業務 (準備中)	
11	埼 玉	埼玉県電気工事 (工)	ISO9001 ISO14001	組合共同事業、一般電気工作物の電気保安業務	

NO	都道府県	組 合 名	適 用 規 格	登 録 範 囲	関 係 情 報 (情 報 ソ ー ス)
12	千 葉	なし	—	—	
13	東 京	不明			
		(協) 神奈川県産廃センター	ISO9001:2000	産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物を含む) 業者の経営に関する企画・立案・管理	
		横浜建築設計 (協)	ISO9001:2000	建築の設計・監理の業務	
		(協) 川崎市建築家の会	ISO9001:2000	①建築物の設計及び工事監理 ②建築物の耐震診断及び耐震補強設計	
		横浜建物管理 (協)	ISO9001:2000	ビルメンテナンス協同組合の業務	
		ミ ー ズ 設 計 連 合 (協) 事務局、株式会社大川設計、株式会社小川建築事務所、株式会社小網健一建築設計事務所、加藤一級建築設計事務所、有限会社株式会社、有限会社中央設計、TAMA設計一級建築士事務所、一級建築士事務所雄設計室、株式会社里木アルファデザイン			
14	神 奈 川	相模原市設計 (協)	ISO9001:2000	建築設計及び管理業務	http://www.chuokai-kanagawa.or.jp/iso/kigyojirei/kigyo.html
		(協) 藤沢市建設資源リサイクルセンター	ISO9001:2000	建設廃材を原料とする再生材の製造及び販売	
		横浜市電設事業 (協)	ISO9001:2000	電気工事設計管理及び施工管理	
		川崎ビルメンテナンス業 (協)	ISO9001:2000	ビルメンテナンス業協同組合の業務 (共同受注、共同購買、共同検査)	
		相模原市印刷 (協)	ISO14001:1996	印刷及び印刷関連事業を行なう組合員に対する環境に 関わる組合本部業務	
		さがみビルメンテナンス (協)	ISO14001:1996	ビルメンテナンス業により発生する環境影響を管理する ために運営されている環境マネジメントシステム	
15	新 潟	新潟セルテック建設 (協業)	ISO9001	一般土木建築の設計及び施工	http://www.chuokai-niigata.or.jp/seturitu5-4.htm

NO	都道府県	組 合 名	適 用 規 格	登 録 範 囲	関係情報 (情報ソース)
		(協業) 太陽自動車工業	ISO9001	立ち会い車検サービスの提供 (整備部門)	
		新潟生活ネット (協)	ISO14001	自動車車検・整備・板金塗装業務・その他関連事業	
15	新 潟	柏崎刈羽原子力メンテナンス (協)	ISO14001	共同受注事業・共同購買事業・金融事業・事業代行事業その他	
		長野自動車部品工業 (協)	ISO9001 (※取得中)		
16	長 野	なし	ISO9001:2000	金属熱処理加工	
		東芝機械協力 (協)	—	—	
18	静 岡	天竜プレカット (協)	ISO14001:1996	工作・精密・各種機械製造及び部品の製作 他	
		愛知県舞台運営事業 (協)	ISO9001:2000	木材住宅部材の加工	
19	愛 知	なし	ISO9001:2000	劇場管理業務における技術の向上と継続的な改善	
20	岐 阜	志摩環境事業 (協業)	—	—	
		三重県木造住宅 (協)	ISO14001:1996	し尿及び浄化槽汚泥収集運搬、浄化槽設置及び維持管理、産業廃棄物 (汚泥・廃油・かれき類) 収集運搬	
21	三 重	三重県鶏卵卸売 (協業)	ISO9001:2000	建築用木材プレカット加工品の製造	
		なし	ISO14001:1996	鶏卵の卸売業	
22	富 山	小松協栄瓦 (企)	—	—	
		(協) 福井県建築設計監理協会	ISO9001:2000	粘土瓦の製造及び販売に関わるすべての事業	
23	石 川	滋賀県建設コンサルタント (協)	ISO9001	建築物の設計及び工事監理	
24	福 井	不明	ISO9001:2000	業務全般	
25	滋 賀	なし	—	—	
26	京 都	(協) 関西地盤環境研究センター	ISO9001	試験業務についての品質システム	http://www.ks-dositu.or.jp/ksrc01/01_6/ksrc01_6.htm
27	奈 良	不明	—	—	
28	大 阪	和歌山県資源開発 (協業)	ISO14001	不燃性粗大ゴミのリサイクル全般 (金属クズ、廃プラスチック、自動車、家電等)	
29	兵 庫				
30	和歌山				

NO	都道府県	組 合 名	適 用 規 格	登 録 範 囲	関 係 情 報 (情 報 ソ ー ス)
31	鳥 取	倉古資源リサイクル事業 (協)	ISO14000 1996/JISQ14000/1996	古紙回収業	
		鳥取県金属熱処理 (協業)	JISQ14001:1996, ISO14001, 1996	金属熱処理加工における①省資源②省エネルギー③廃棄物の低減を推進するためのマネジメントシステム	
32	島 根	松江広域再生資源 (協)	ISO14001:1996	収集業務、施設管理	
		(協) 島根県鐵工会	ISO14001:1996	登録組織全域における組合員への共同購取事業 (倉庫及び板金加工場を含む) 浄化槽の清掃、管理及び廃棄物の収集運搬業務	
33	岡 山	(協) 岡山県設計技術センター	ISO9001:2000	建築設計及び工事監理	
34	広 島	*広島物流ネットワーク (協)	ISO9001 (組合員9社による合同取得)		
		(協) 福山金属工業センター	ISO14001		
35	徳 島	(協業) 徳島印刷センター	ISO14001	印刷及びそれに関する事務	
36	香 川	なし	—	—	
37	愛 媛	ワイグループ (協)	ISO14001	織物、繊維製品	
		高知県竹資源事業 (協)	ISO14001:1996	竹製品の生産	
38	高 知	高知県生コンクリート (工)	ISO17025	機械物理試験、建材試験、コンクリート圧縮強度、曲げ強度	
		菊田町清掃事業 (協)	ISO9001:2000	可燃物・不燃物の収集運搬	
39	福 岡	建設コーポ筑豊 (協)	ISO9001:2000	不明	
		(協業) クロバー工業写真センター	ISO9001:2000	不明	
40	佐 賀	なし	—	—	
41	長 崎	長工醤油味噌 (協) 大村工場 香味彩館	ISO9001	食料品、飲料、タバコ	
		(協業) 長崎市古紙リサイクル回収機構	ISO14001	再生業、その他の社会的・個人的サービス	

NO	都道府県	組合名	適用規格	登録範囲	関係情報(情報ソース)
42	熊本	印刷(協業)サンカラー 有価物回収(協業)石坂グループ	ISO9001 ISO14001	印刷及び企画・編集・出版 リサイクル・リユースによる廃棄物発生量の削減省エネ(水・電気)、有害物の適正処理を推進するための環境マネジメントシステム	
43	大分	なし	-	-	
44	宮崎	不明			
45	鹿児島	なし	-	-	
46	沖縄	沖縄県生コンクリート(協)	ISO9001:2000	レディミクスコンクリートの設計及び共同販売、組合員工場に対する品質管理監査業務	
		(協業)丸正印刷	ISO9001:2000	全組織及び製品(印刷物)に関わるプロセス、リソース	
		那覇青果物卸商事(協)	ISO9001:2000	青果物の輸入及び卸売業	
		沖縄県生コンクリート(工)	ISO17025	機械物理試験、建材試験、コンクリート圧縮強度	

組合員の力を結集し環境ISOの認証を取得、環境と経営の両立を

神奈川県段ボール箱協同組合

所在地：〒232-0066

横浜市南区六ツ川3-63-1 興亜紙器(株)内

電話番号：045-741-4842

FAX番号：045-714-5131

組合員数：10人

出資金：500万円

設立：昭和54年7月

地区：神奈川県

主な業種：段ボール箱製造業

組織形態：同業種網羅型組合

組合専従者：—

専従理事：—

URL：http://

群審査により環境ISOの認証を取得し、顧客の強い要望に応える。組合の結束強化、組合員企業の経営・業務の改善、社員のモラル向上により、環境と経営に寄与する

背景と目的

環境に配慮した企業活動を求める顧客の強い要望と地域社会への責任に応えるために、環境ISOの認証取得に取り組むこととした。

取り組みの内容

認証取得に要する費用と作業ロードを軽減し、組合員企業の智恵を結集するため、審査機関、郡審査認証取得済企業やコンサルタントなどを調査した結果、群審査を選定することにした。参加組合員によるISO推進会議を結成し、各社協力のもと、共通のシステムと各社別のシステムを構築し

た。推進会議がスタートしてから14ヵ月後の平成15年8月、参加5社7事業所が認証を取得。顧客の要望に応え、地域社会への責任を果たす取り組みの枠組みができあがった。

成果

今後、このシステムを基盤として、各社が環境と経営を両立させる企業活動を実践するとともに、経営ツールとして、企業活動の改善を図っていくことにしている。また、この活動から生まれた組合員相互の信頼関係を活かして、積極的な共同事業を展開し、組合員各社の経営と顧客満足に寄与していく。



▲認証合同授与式

組合でISO14001を取得。地域社会と地球に“やさしい”企業活動で躍進

新利根工業団地 協同組合

所在地：〒300-1400

稲敷郡新利根町中山字大久保1307番地

電話番号：0297-87-2712

FAX番号：0297-87-2712

組合員数：9人

出資金：7,992万円

設立：昭和51年4月

地区：大阪府、岡山県、茨城県

主な業種：農業用機械製造業

団地形態：下請組合

移転完了日：昭和52年5月

組合専従者：7人

専従理事：1人

URL：http://

世界的な環境意識の高まりを受け、ISO14001の認証取得に向けての取組みを開始。産廃処理施設の整備やリサイクル等を進めることで認証取得を実現。産廃処理コストも削減された

背景と目的

世界規模での環境意識の高まりや環境関連規制の強化など、組合を取り巻く経営環境は厳しさを増していた。そこで、平成12年度から環境負荷の軽減やコストの削減、組合員の連携強化などにより、ISO14001の認証取得に取り組んだ。

取組みの内容

組織を再編し、環境マネジメント部門を新設するとともに、組合員企業の監査や産廃処理のための共同施設の設置・保全をはじめ、マニュアルの作成、組合員の意識改革など、認証取得のための活動を行った。組合員の中には、ISO取得を疑問視する声も皆無ではなかったが、取組みによって

削減されるコストを具体的に算出し提示するなど、組合員間の温度差を埋める努力をした。組合員企業が個別に認証取得に取り組むことは、設備の導入などコスト面での障害があるが、共同で取り組むことにより、そうした問題も解消されている。

成果

平成13年12月にISO14001を認証取得したことにより、産廃処理コストは、取組みの前年度である12年度の2,423,400円から、14年度には2,264,000円と14.1%も減少している。また、組合員間の連携や一体感を一層強化することもできた。このほか、環境に対する組合員企業の意識改革が図られたことで、各企業におけるリサイクルの促進、光熱費等の削減等も実現している。



地域社会と自然環境の調和を
目指す環境保全活動の推進

協同組合福山金 属工業センター

所在地：〒721-0956
福山市箕沖町99-2

電話番号：084-953-5270

FAX番号：084-953-5270

組合員数：7人

出資金：3,567万円

設立：昭和49年11月

地区：福山市

主な業種：金属製品表面処理業

団地形態：工場団地組合

移転完了日：昭和53年3月

組合専従者：4人

専従理事：—

URL：http://

組合員企業の生産活動で排出される工業排水を浄化する共同排水処理施設を、ISO14001の認証を取得し運用することで、環境保全と企業のイメージアップに努めている

背景と目的

昭和49年、公害防止を目的に市内に散在していた11社が工場団地組合を設立した。52年には第1次共同排水処理施設を設置、更に平成5年には、第2次共同排水施設を建設し環境保全、公害防止に努めてきた。この「共同排水処理事業」の主な目的は、公害防止により、従来からある「メッキ関連業は公害発生企業である」という悪いイメージを払拭することにあったが、残念ながら周囲からは、十分な理解が得られたとは云えない状況にあった。

取り組みの内容

平成12年、前理事長がISOに関する講演会を聴講したのを機に、その重要性和必要性を痛感、ISO14001の認証取得の検討を開始した。以来、構造調整対応診断等が実施されたことによって、組合員のコンセンサスも得られ、同年7月、認証取得に向けて活動を始めた。組合の専従者と組合

員企業の専任担当者が中心になって、研究会、先進地視察(東京都の中央鍍金工業協同組合)等を外部コンサルタントの指導を受けながら進め、13年10月認証取得に至った。同時に組合員3社もISO14001認証を取得している。

成果

認証取得後、①共同排水処理施設に流入する原排水の異常処理件数(平成12年度65件、13年度33件、14年度24件)が減少、その結果、運用コストの削減が図れた、②共同排水処理施設における作業手順が明確になり、責任と権限がはっきりとした、③地震や火災時の環境上のリスク回避対応が明確化できた、等の成果があがっている。今後は、環境の保全のみに止まらず、①企業PR、②売上高・利益の増大、③マネジメントの改善、④更なるコストダウンの推進、⑤新技術の開発、等が組合活動の一環として、推進されることが望まれている。





社のモットーは「前進」

14001に次いで9001も挑む

全国12社との共同の挑戦が奏功

〔協業組合 徳島印刷センター〕



代表理事
多田 昭夫

協業組合徳島印刷センター（多田昭夫理事長徳島市問屋町一六五）は、全国の印刷会社十二社と力を合わせ、情報交換、勉強推進を図りつつ、このほどISO14001を認証取得した。一息つくことなく今は、9001取得を目指し努力を重ね、今月八・九日の認証審査を受けるまでになっている。社是の「前進」と同じく日々、進歩向上に邁進する同社を訪ねた。

会社沿革

昭和四十六年六月、中小企業近代化促進法の一部改正によって印刷業が構造改善事業の対象となる特定業種指定をされた。これを機に中小企業、零細工場が集まって適正規模にして、設備の近代化、従業員の福祉向上を図ろうと、県下四つの印刷会社が団結、協業組

合徳島印刷センターを設立した。

五十七年ごろから印刷業界にデジタル化が進む中、その対策に向けて勉強を開始。設備、技術とも最先端の印刷会社にした。

五十八年、鳴門市内に二八〇平方メートルの土地を取得、営業所を開設。さらに平成六年、徳島市問屋町に鉄筋三階建て（三六五平方メートル）の社屋を建て、プリプレス部の充実に当たった。

ISO取得への動機

美しい地球、美しい自然を未来に引き継ぐことは、今に生きている私たちに与えられた大きな使命であり義務である。自然破壊、化石燃料の枯渇、二酸化炭素の排出、オゾン層破壊などの地球温暖化現象の発生などさまざまな環境破壊が見られる今日、私たちはグリーン調達など、企業としてこの問題にどう取り組むか。特に印刷業という関係上、用紙・森林資源の維持に努めるために、用紙の節減ということを第一の目標に掲げ、ISO取得に向けスタートした。

会社概要

会社名 (協業) 徳島印刷センター
代表者 代表理事 多田 昭夫
所在地 徳島市問屋町165
電話番号 088-625-0135
創業 昭和48年1月
資本金 4,500万円
従業員数 41名
〔情報支援事業賛助会員〕

推進の主役

多田理事長は早くからISO取得問題に着目。東京での印刷業界のニュースがいち早く手に入る関係から近い将来、取得を考えていた。

十五年十月、全社員が参加しての朝令の席上、多田理事長が「認証取得の意義、メリット、既に取得すべき趨勢にあること」を力説、事実上のキックオフとなった。

理事長は同社でのキックオフ宣言前々、全国の印刷会社十二社が共同での取得作業に入ることを協議していた。



徳島印刷センター

プロジェクトチーム編成

理事長の「宣言」を聞いて社員たち一同も取得への意欲を見せ、プロジェクトチームの編成に入った。

トップに多田理事長、推進責任者に赤澤義仁理事、その下に各部門長三人、さらに八人のスタッフをそろえた。

一週一回、業務を終えた午後五時から勉強会。また東京での合同研修会、研究会には赤澤理事はじめ部門長らが出席。作業の進め方、研究の仕方など、進んだ方法をインプットして帰り、チームに導入。レベルアップを図った。

取得までの推進計画

▽平成十五年十月〓推進責任者集中合同研修▽十一月〓モデルマニュアルの検討、環境側面抽出と影響評価▽十二月〓運用開始の準備、関係者全員の教育研修▽十六年一月〓運用開始▽二月〓内部監査員養成研修▽三月〓マネジメントレビュー、内部監査実施▽四月〓コンサルティング会社模擬監

査▽六月〓認証審査

取得の費用

コンサルタント料一〇〇万円、認証審査諸経費三六万七千円、合同研修旅費五八万円、環境改善費二〇万円、合計二一四万七千円。

認証機関・認証範囲

ビーブイキューアイジャパン株式会社審査登録機関となり、認証範囲は印刷物及び印刷活動に関連する生産。

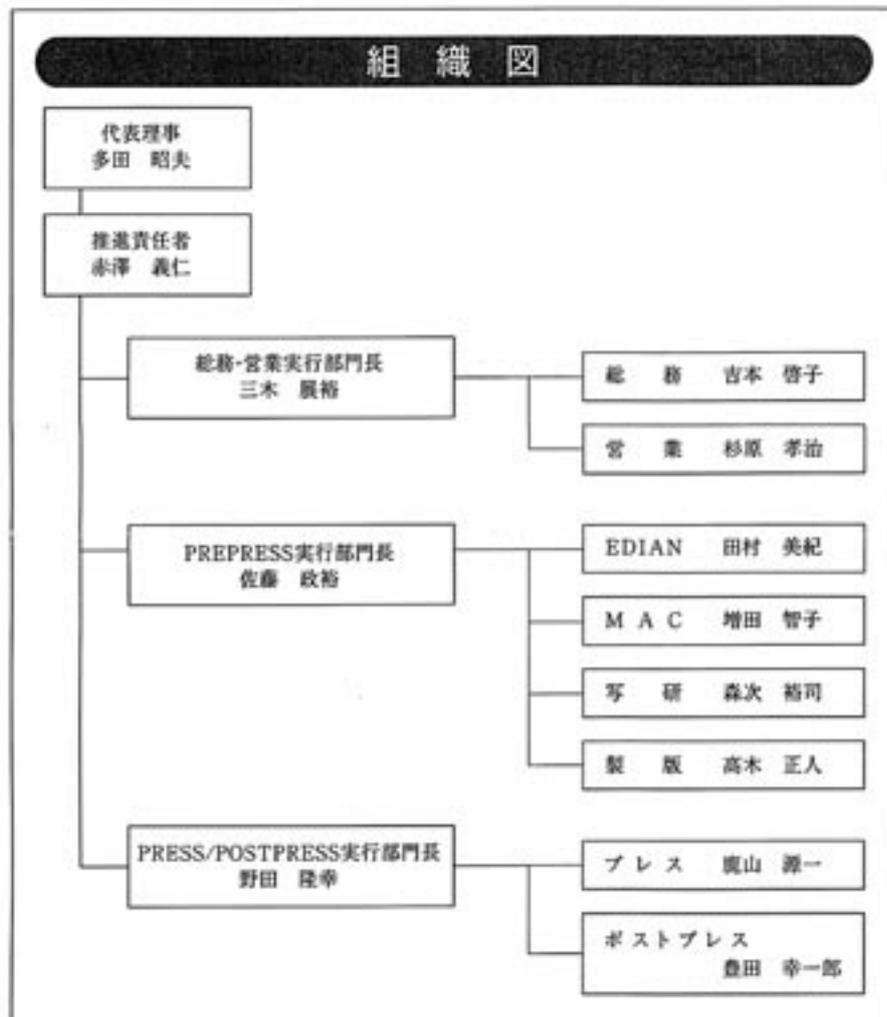
環境方針

〔環境理念〕

私たちは、情報関連産業の先進的企業群として、事業活動のすべてにわたり、環境に配慮した対応を進め、地球環境保全に努めます。

〔行動指針〕

- ①地球環境保全活動の継続的改善と見直しを通じて、環境汚染の予防に取り組みます。
- ②省エネルギー、省資源に努めます。
- ③事業活動の全領域において環



環境関連すべての法令及びその他の要求事項を遵守します。

④環境目的及び目標を設定し年度ごとの見直しを通じ継続的に改善します。

この環境方針は、事業に従事する関係者に対して周知徹底するとともに、外部からの要求に応じいつでも公表します。

スムーズな取得理由

全国の業者が集合してともにISO14001取得を目指したため①いろいろの情報交換がスムーズに行われ、疑問や不安が短時間に解決できた。②社員たちの取得への意欲の盛り上がりが高く、打って一丸になって獲得を目指した。③

全社員が環境破壊への危機感を切実に感じ、取得への燃える熱意を持った。

苦労話

会社から出る産業廃棄物の種類や形が数多くあり、それらを分類、処理、削減に苦労した。

特にプリプレス部門では約二〇種、合計七〇ペーシの溶液のMSD

S（製品安全データシート）を取り寄せたが、専門用語や、不明の溶液成分があった。また産業廃棄物と特別管理産業廃棄物の違いや管理に対する疑問点を資材メーカーに問い合わせたり、廃液処理会社との打ち合わせなど法規制を遵守した処理方法を行うための手続きや管理方法の策定に戸惑った。

取得のメリット

①産業廃棄物の減少・リサイクルへの意識が生まれた。表面も裏面も使用できる用紙を表面だけ使用していたのを両面使用して用紙使用量の節減をした。

②産業廃棄物として処理していたプラスチックを、廃プラスチックリサイクル業者に処理委託することで廃棄物の半減に成功した。

③環境に配慮する意識が高まった。不要な電気を使わないことは以前からあったが、電気の使用が環境への悪影響を及ぼす面のあることへの認識が強まり、不要の電気は積極的に使用を減らす意識が強まった。



機器の並ぶ整然とした印刷センター工場内

社のモットー

創業以来、社是を「前進」とする。常に向上、進歩を信条とし、互いに技術を高め合うのはもちろん、研究、自己啓発、勉強量の増大、読書時間の拡大を図ってきた。仕事ではミスプリント皆無を貫いて来ている。全社員の一〇%を校正に充てているほか、三回にわ

たる校正をして、厳しきこの上なほどの「ミス」発生を厳重にチェックしている。

校正への正確さ、ミス発生皆無は一般のお客さんからも称賛されており「よくこの誤りを正してくれましたね」「普通、見過してしまふ箇所を、よくぞ発見してくれました」などとうれしい指摘をよく受ける。

取得後の

これから

ISO14001を取得して「自然と人に優しい企業」を目指し、個人生活でも社会環境保全に向けての目標を掲げて努力を誓っている。

メリット

産廃を減少させる意識高まる
産廃をリサイクル処理で半減
環境に配慮する必要性を認識



ISO14001取得で勉強を重ねるスタッフ

徳島印刷センターは今

多田理事長は自筆の5S「整理、整頓、清掃、清潔、躰」を印刷、製本、マック、エディアン、写研の各課に掲げて全社員の自覚を呼

びかけている。このほか、最近、失われたも重視している。このため訪れたお客さんも社員の礼儀正しさを、電話の対応の良さに驚く。このほか社員たちの勤務中の私語はまるでなく、ただ一心に仕事に打ち込んでいる。このためインターンシップで訪れる学生たちも、懸命に仕事に取り組み姿に圧倒されたなどの感想をもらすほど。

からはISO9001の取得作業にかかっており、作成したファイルは二十四冊にもなる。「前進」を社是とする同社は、将来を見据え、前へ前へと突き進んでいる。



5
協業組合
宮城県

ISOの理念と共に地球環境に配慮した事業活動を推進する

協業組合アクアテック栗原

組合役員・従業員はISOの認証取得をベースに、地球環境に優しい仕事のあり方を学び実行するとともに水資源との共生をめざし、社会から信頼される環境管理事業を推進している

組合は栗原郡の一般家庭を対象とした浄化槽管理を目的に設立されたが、最近では下水道の普及とともにこの処理施設の管理を始め、管工事や貯水槽管理・廃棄物収集運搬を含むビル管理業務にも進出している。

組合業務は環境保全と深い関わりを持っていることから、代表理事はISOの理念に賛し、直ちにこの国際規格を取得することとした。

浄化槽管理事業を巡る経済環境は、国の政策による下水道の普及や平成13年4月からの規制緩和による民間企業の進出等、極めて厳しい状況となってきている。この事態を乗り越えていくためには、ISO規格の取得により、組合イメージの向上を図るとともに競争力を確保していく戦略を確立することが必要であった。

平成12年2月、組合はコンサルタント会社に指導を受け環境マネジメントシステムを構築するための組織を発足させた。この組織は代表理事をトップに、常務理事が環境管理責任者、その下に事務局と4専門部会を置き、内部監査委員会も4理事が担当することとなった。その後社員教育・内部監査員育成、システム構築による管理手順書の作成、システム運用実施、内部監査実施、書類審査・本審査の過程を経て、平成13年8月にISO認証取得に成功し登録することができた。

組合の環境活動内容については、環境方針7項目に明示されている。方針は ①地域との協調・共生 ②顧客所有浄化槽の適正管理 ③環境影響評価に基づく活動目標についての継続的改善 ④環境関連法律・条令等の遵守 ⑤環境活動についての教育啓蒙 ⑥廃棄物削減と省エネルギー ⑦EMS文書化と全従業員への周知徹底となっている。

認証取得後、営業面では廃棄物処理についてISO取得事業所からの依頼が増加しているなど好影響が生まれてきている。また、認証取得後日が浅いにもかかわらず、上記7方針に従った従業員の活動についても徹底されている。それは、地域との共生方針による、県道47号線花壇植栽・伊豆沼クリーンキャンペーン・栗駒山登山道清掃登山等へ多数の従業員が自主的に参加していることや、顧客浄化槽の管理目標月間85%を最近4ヶ月連続達成していること、廃棄物発生量も8ヶ月間のうちで7ヶ月目標を達成していることなど、活動結果の教訓が物語っている。

- 所在地 栗原郡栗原町
- 設立 昭和54年2月
- 組合員数 6人
- 出資金 2,935万円
- 地区 -
- 主な業種 浄化槽清掃管理
- 組織形態 一部協業型協業組合
- 専従理事 1人
- 組合役員者 5人
- URL <http://www.chuokai-miyagi.or.jp/aquatec/>

▼ 県道47号線花壇植栽



▼ 顧客浄化槽管理点検



組合理事長様

組合・組合員におけるISO認証取得に関する実態調査へのご協力をお願い

近年、経営革新のツールとして ISO9000S および ISO14000S を取得される組合・企業等が増えてきています。

一方で、導入に伴う文書作成業務の増加等の課題も浮き彫りになってきています。

そこで、県内の中小企業組合・組合員における ISO に対する意識、取得後の効果、問題点等を調査し、今後の支援の資料とするとともに、組合を通しての共同取得の意向を把握するため実施するものです。ご繁忙の折、誠に恐縮ですが以下の調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

組合・組合員における ISO 認証取得に関する実態調査票

調査時点 平成16年11月20日

調査締切 平成16年12月20日

調査票に記入された事項については、秘密を厳守し
統計以外の目的に用いることは致しません。

ご回答に当たってのお願い

1. 調査票は **組合用調査票** と **組合員企業用調査票(2社分)** がございますのでご注意ください。
2. ご記入に当たって不明な点など調査に関するお問い合わせは下記にお願いします。

山口県中小企業団体中央会 企画調査課 小倉

(TEL 083-922-2606 FAX 083-925-1860)

組合用調査

組 合 名	
組 合 員 数	
業 種 名 (該当業種の□に チェックをして ください)	製造業 (□食料品 □飲料・たばこ・飼料 □繊維 □衣服・その他織 維製品 □木材・木製品 □家具・装備品 □パルプ・紙・紙加工品 □出版・印刷・同関連産業 □化学工業 □プラスチック製品 □ゴム製品 □なめし皮・同製品・毛皮 □窯業・土石製品 □鉄鋼業 □非鉄金属 □金属製品 □一般機械器具 □電気機械器具 □輸送用機械器具 □精密機械器具 □その他の製造業) □建設業 □卸売業 □小売業 □飲食店、宿泊業 □医療、福祉 □教育、学習支援 □電気・ガス・熱供給・水道業 □情報通信業 □運輸業 □不動産業 □金融保険業 □サービス業 □その他
記入担当者職氏名	
電 話 番 号	

問5 ISO9000 シリーズの認証取得のデメリットは、どのようなことだと思いますか【複数回答可】

- ①品質向上に直結しない
- ②事務処理が煩雑になる
- ③記録類を残すのに工数を要す
- ④マニュアル作りが大変である
- ⑤フォローアップ審査への対応が必要
- ⑥諸経費が比較的高い
- ⑦創造性が失われる危険性がある
- ⑧その他 ()

■ ISO14000 シリーズについて

問6 ISO14000 シリーズをご存知ですか？（該当番号の□内を1つチェックしてください。）

- ①よく知っている
- ②少し知っている
- ③知らない

問7 ISO14000 シリーズに関心がありますか（該当番号の□を1つチェックしてください。）

- ①大変関心がある
- ②少し関心がある
- ③関心がない

問8 組合もしくは組合員企業の ISO14000 シリーズ取得への取り組み状況について。

（該当番号の□内をチェックしてください。）

【組 合】

- ①取得している
- ②取得に向け準備中
- ③すぐにもでも取り組みたい
- ④将来は取り組みたい
- ⑤取り組む考えはない

【組合員企業】

- ①取得している → () 社)
- ②取得準備中 → () 社)
- ③取得していない → () 社)

問9 ISO14000 シリーズ取得のメリットは、どのようなことだと思いますか？

（該当番号の□内をチェックしてください。【複数回答可】）

- ①親企業・得意先の意向
- ②販売上・入札上有利である
- ③業務の標準化が図れる
- ④文書管理が徹底される
- ⑤企業のイメージが向上する
- ⑥海外取引に有利
- ⑦生産性が向上する
- ⑧コストダウンができる
- ⑨職務の責任と権限が明確化される
- ⑩内部監査やフォローアップ審査により職場が活性化される
- ⑪従業員の意識向上ができる
- ⑫環境問題に貢献できる
- ⑬その他 ()

お手数ですが2社ご選定いただき下記調査票へのご記入にご協力下さい。

組合員企業用調査票

調査時点 平成16年11月20日

調査締切 平成16年12月20日

調査票に記入された事項については、秘密を厳守し統計以外の目的に用いることは致しません。

■企業の概要

企 業 名	
資 本 金 (該当の□にチェックをしてください)	<input type="checkbox"/> 個人企業 <input type="checkbox"/> 300万円未満 <input type="checkbox"/> 300～1,000万円未満 <input type="checkbox"/> 1,000～3,000万円未満 <input type="checkbox"/> 3,000～5,000万円未満 <input type="checkbox"/> 5,000～1億円未満 <input type="checkbox"/> 1億円以上
従 業 員 数 (該当の□にチェックをしてください)	<input type="checkbox"/> 5人未満 <input type="checkbox"/> 5～9人 <input type="checkbox"/> 10～29人 <input type="checkbox"/> 30～49人 <input type="checkbox"/> 50～79人 <input type="checkbox"/> 80～99人 <input type="checkbox"/> 100～199人 <input type="checkbox"/> 200～299人 <input type="checkbox"/> 300人以上
業 種 名 (該当業種の□にチェックをしてください)	製造業 (<input type="checkbox"/> 食料品 <input type="checkbox"/> 飲料・たばこ・飼料 <input type="checkbox"/> 繊維 <input type="checkbox"/> 衣服・その他繊維製品 <input type="checkbox"/> 木材・木製品 <input type="checkbox"/> 家具・装備品 <input type="checkbox"/> パルプ・紙・紙加工品 <input type="checkbox"/> 出版・印刷・同関連産業 <input type="checkbox"/> 化学工業 <input type="checkbox"/> プラスチック製品 <input type="checkbox"/> ゴム製品 <input type="checkbox"/> なめし皮・同製品・毛皮 <input type="checkbox"/> 窯業・土石製品 <input type="checkbox"/> 鉄鋼業 <input type="checkbox"/> 非鉄金属 <input type="checkbox"/> 金属製品 <input type="checkbox"/> 一般機械器具 <input type="checkbox"/> 電気機械器具 <input type="checkbox"/> 輸送用機械器具 <input type="checkbox"/> 精密機械器具 <input type="checkbox"/> その他の製造業) <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> 飲食店、宿泊業 <input type="checkbox"/> 医療、福祉 <input type="checkbox"/> 教育、学習支援 <input type="checkbox"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> 情報通信業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> 不動産業 <input type="checkbox"/> 金融保険業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input type="checkbox"/> その他
記入担当者職氏名	
電 話 番 号	

調査票にご記入の上、中央会宛に返信用封筒で郵送もしくはFAX083-925-1860にて平成16年12月20日までに送付いただきますようお願い申し上げます。

なお、ご記入に当たって不明な点など調査に関するお問い合わせは下記にお願いします。

山口県中小企業団体中央会 企画調査課 小倉(TEL 083-922-2606 FAX 083-925-1860)

■ IS09000 シリーズについて

問1 IS09000 シリーズをご存知ですか？(該当番号の□内を1つチェックしてください。)

- ①よく知っている
②少し知っている
③知らない

問2 IS09000 シリーズに関心がありますか(該当番号の□内を1つチェックしてください。)

- ①大変関心がある
②少し関心がある
③関心がない

問3 ISO9000 シリーズの認証取得への取り組み状況について。

(該当番号の□内をチェックしてください。)

- ①取得している → 問4～問8及び問10以降にお答え下さい。
- ②取得に向け準備中 → 問4～問8及び問10以降にお答え下さい。
- ③すぐにでも取り組みたい → 問4～問5及び問10以降にお答え下さい。
- ④将来は取り組みたい → 問4～問5及び問10以降にお答え下さい。
- ⑤取り組む考えはない → 問9及び問10以降にお答え下さい。

問4 ISO9000 シリーズの認証取得のメリットについてお答え下さい。

(該当番号の□内をチェックしてください。【複数回答可】)

- ①親企業・得意先の意向
- ②販売上・入札上有利である
- ③業務の標準化が図れる
- ④文書管理が徹底される
- ⑤企業のイメージが向上する
- ⑥海外取引に有利
- ⑦生産性が向上する
- ⑧コストダウンができる
- ⑨職務の責任と権限が明確化される
- ⑩内部監査やフォローアップ審査により職場が活性化される
- ⑪従業員の意識向上ができる
- ⑫QCサークルのマンネリ化の打開策になる
- ⑬PL法に対処しやすくなる
- ⑭取引先からの工場監査が省略される
- ⑮その他 ()

問5 ISO9000 シリーズの認証取得のデメリットと思われることについてお答え下さい。

(該当番号の□内をチェックしてください。【複数回答可】)

- ①品質向上に直結しない
- ②事務処理が煩雑になる
- ③記録類を残すのに工数を要す
- ④マニュアル作りが大変である
- ⑤フォローアップ審査への対応が必要
- ⑥諸経費が比較的高い
- ⑦創造性が失われる危険性がある
- ⑧その他 ()

問6 ISO9000 シリーズの認証取得に要した（要する）費用について
（該当番号の口内をチェックしてください。）

- ①0～200 万円未満
- ②200～400 万円未満
- ③400～600 万円未満
- ④600～800 万円未満
- ⑤800～1,000 万円未満
- ⑥1,000～1,200 万円未満
- ⑦1,200～1,400 万円未満
- ⑧1,400～1,600 万円未満
- ⑨1,600 万円以上

問7 ISO9000 シリーズの認証取得した規格についてお書き下さい。

問8 認証取得に苦勞した（苦勞している）点とコンサルタントの利用についてご記入
下さい。

イ. 苦勞した（苦勞している）点

記入例）抽象的な規格の理解と自社への具体的な適用

ロ. コンサルタントの利用

記入例）Z社と1名コンサルタント契約し、指導を受けている

問9 ISO9000 シリーズの認証取得に取り組む考えのない理由について
（該当番号の口内をチェックしてください。【複数回答可】）

- ①必要性を感じない
- ②人材がない
- ③知識がない
- ④費用がかかる
- ⑤担当する部門がない
- ⑥メリットがわからない
- ⑦その他（

）

■ ISO14000 シリーズについて

問 1 0 ISO14000 シリーズをご存知ですか？（該当番号の□を1つチェックしてください。）

- ①よく知っている
- ②少し知っている
- ③知らない

問 1 1 ISO14000 シリーズに関心がありますか（該当番号の□をチェックしてください。）

- ①大変関心がある
- ②少し関心がある
- ③関心がない

問 1 2 ISO14000 シリーズの認証取得への取り組み状況について。

（該当番号の□内をチェックしてください。）

- ①取得している → 問 1 3～問 1 6、要望欄にお答え下さい。
- ②取得に向け準備中 → 問 1 3～問 1 6、要望欄にお答え下さい。
- ③すぐにでも取り組みたい → 問 1 3～問 1 4、要望欄にお答え下さい。
- ④将来は取り組みたい → 問 1 3～問 1 4、要望欄にお答え下さい。
- ⑤取り組む考えはない → 問 1 7、要望欄にお答え下さい。

問 1 3 ISO14000 シリーズの認証取得のメリットについてお答え下さい。

（該当番号の□内をチェックしてください。【複数回答可】）

- ①親企業・得意先の意向
- ②販売上・入札上有利である
- ③業務の標準化が図れる
- ④文書管理が徹底される
- ⑤企業のイメージが向上する
- ⑥海外取引に有利
- ⑦生産性が向上する
- ⑧コストダウンができる
- ⑨職務の責任と権限が明確化される
- ⑩内部監査やフォローアップ審査により職場が活性化される
- ⑪従業員の意識向上ができる
- ⑫環境問題に貢献できる
- ⑬その他（)

問 1 4 ISO14000 シリーズの認証取得のデメリットと思われることについてお答え下さい。

（該当番号の□内をチェックしてください。【複数回答可】）

- ①環境向上に直結しない
- ②事務処理が煩雑になる
- ③記録類を残すのに工数を要す
- ④マニュアル作りが大変である
- ⑤フォローアップ審査への対応が必要
- ⑥諸経費が比較的高い
- ⑦創造性が失われる危険性がある
- ⑧その他（)

問15 ISO14000 シリーズの認証取得に要した（要する）費用について
（該当番号の口内をチェックしてください。）

- ①0～200 万円未満
- ②200～400 万円未満
- ③400～600 万円未満
- ④600～800 万円未満
- ⑤800～1,000 万円未満
- ⑥1,000 万円以上

問16 認証取得に苦勞した（苦勞している）点とコンサルタントの利用についてご記入
下さい。

ハ. 苦勞した（苦勞している）点

記入例）抽象的な規格の理解と自社への具体的な適用

ニ. コンサルタントの利用

記入例）Z社と1名コンサルタント契約し、指導を受けている

問17 ISO14000 シリーズの認証取得に取り組む考えのない理由について
（該当番号の口内をチェックしてください。【複数回答可】）

- ①必要性を感じない
- ②人材がない
- ③知識がない
- ④費用がかかる
- ⑤担当する部門がない
- ⑥メリットがわからない
- ⑦その他（)

■ ISOに関する意見や要望、組合に望む支援策等があればご記入下さい

～ご協力ありがとうございました～

山口県中小企業団体中央会の概要

中小企業団体中央会は「中小企業等協同組合法」を根拠として、わが国事業所の大半を占め、かつ、わが国経済社会の基盤を形成している中小企業の振興発展を図るため、中小企業の組織化を推進し、その連携を強固にすることによって、中小企業を支援するための専門機関として組織されている特別法人です。

山口県中小企業団体中央会は、昭和31年2月15日に設立され、構成員は、県内に所存する事業協同組合・同連合会、火災共済協同組合、企業組合、協業組合、商工組合、商店街振興組合・同連合会その他の中小企業関係団体で現在約540会員で構成され、県や関係機関と連携して組合並びに中小企業を応援するため、次のような様々な事業を展開しています。お気軽にご活用下さい。

- 組合等の設立及び運営指導、中小企業の経営・労務・経理・税務・法律相談、支援
- 専門家を活用して問題解決のための支援・講習会等の開催
- 地域産業の実態等の調査、データベースの作成
- 情報の収集と機関誌、インターネットなどによる情報の提供
- 組合、個別企業等の情報発信事業
- 官公需受注の促進
- 小企業者の組織化推進
- 中小企業組合検定試験の実施と組合士の認定・登録
- 中小企業振興対策の建議・陳情・請願

平成16年度地域産業実態調査事業／特定問題調査（ISO）
**組合・組合員におけるISO認証取得に関する実態調査
報 告 書**

平成17年2月

山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央四丁目5番16号
(山口県商工会館内)
TEL 083-922-2606(代)
FAX 083-925-1860
E-mail: ycdc@asix.or.jp
URL <http://www.axis.or.jp>

●
下関支所

〒750-0074 山口県下関市大和町1丁目2番8号
(山口県貿易センタービル内)
TEL 0832-67-0741
FAX 0832-67-5435
E-mail: shimonoseki@asix.or.jp